

# 平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	要保護児童対策事業					会計	款	項	目	大事	小事
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくことのできる流山（市民福祉の充実）		主管課	子ども家庭課		01	03	02	01	10
施策	4-1	安心して子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり		主管課長	熊井 彰		03				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	要保護児童	意図	保護すべき児童の早期発見と適切な保護
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援内容の協議などを行う協議会の設置</li> <li>関係機関との情報の交換</li> <li>要保護児童の早期発見及び適切な保護</li> </ul>			
事業開始から現在までの状況変化	児童虐待及びDV防止対策連絡協議会⇒平成19年3月に要保護児童対策地域協議会へ移行			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名 称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	① 個別支援会議	8	13	15	回	↑↑↑	
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)	3,591,800	3,865,800	4,270,200				
事業費（b）(円)	136,800	100,800	151,200				
うち一般財源	136,800	100,800	151,200				
職員給与費(c)(円)	3,455,000	3,765,000	4,119,000				
人役・職員(人)	0.50	0.50	0.60				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価 必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
	市関与の必要性	A 市が担うべき		対象者の適切性	A 対象者は適切である
			効率性	コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡充	(事業を拡大して継続すべき)			

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	関係機関との更なる連携により、児童虐待の早期発見・未然防止に努める。	③取組の課題	より実践的な会議になるような工夫を図る必要がある。
②今年度(H28)に実施した取組	実務者会議において全てのケースについて関係機関との情報共有を図った。	④今後の改善計画	それぞれの役割を明確にして連携し、支援できるようにしていく。